

講義科目名称： 地域振興論

授業コード： 678

英文科目名称： Community Development

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
秋学期	2年	2	選択
担当教員			
澁谷 朋樹			
2020年度以前入学者	経：SEE207E		
添付ファイル			

授業概要	地域振興のあり方について、総合的な視野から講義します。授業は外部からの講師を含む複数の講師によりオムニバス方式で行われます。また講義に関連した企業、自治体などを実際に訪れるフィールドワークも行います。地域の産業について教室と実際の現場で学ぶ、経済経営学科の基礎的な専門科目です。 (令和4年度 新潟県補助事業 新潟の産業・企業を知る講座として「地域振興論」が採用され実施した)
到達目標	柏崎市地域の経済・社会の振興の現状に関する多角的かつ総合的な視野を身に付ける。 自分の育った、あるいは住んでいる地域の振興に興味をもち、その方法を見出せるようになる。
テキスト・参考文献	なし
履修条件	外部の方が講師を担当される際には、よりいっそう授業マナーを厳格に守って下さい。
評価方法	各授業での課題レポート+見学レポート：100% （見学については基本的に2回以上が評価の対象となります。）
準備学習（予習・復習等）	予習：次回テーマについて、新聞・雑誌やインターネットなどで情報収集する。（60分） 復習：授業後に課題によるレポートを作成して提出すること。フィールドワークの場合は見学レポートを提出する。（120分）
連絡先	0257-24-8436
備考欄	経済経営学科2年生は履修指定科目となります。留学生は日本語ⅠとⅡの単位修得者が履修可。 [L]:講義 [F]:見学 初回の授業には必ず出席してください。 授業計画は令和4（2022）年度実績 春学期中に授業計画を検討し決定する。
授業計画	[L]「地域振興論」の授業を始めるにあたって。県委託事業としての「地域振興論」の授業の趣旨説明など [L] 農業を通じて、農村発ローカルイノベーションを（women farmers japan 株式会社） [F] 株式会社 阿部建設 見学 [F] 株式会社 テック長沢 見学 [F] 日本海 石地わさび園 見学 [L] 民間デベロッパーが地域にもたらす効果（有限会社 la Luce e L'ombra） [F] マルソー株式会社 長岡新産SLC 見学 [L] 柏崎市の産業について（柏崎市産業振興部 ものづくり振興課） [F] 柏崎市消防本部 見学 [L] ワーク・ライフ・バランスという生き方・働き方 [F] 朝日酒造 見学 [L] 企業のCSR・SDGs活動（株式会社ブルボン 総務推進部CSR企画室） [L] 観光地域づくり（DMOの運営やブランディング）、旅館経営全般（株式会社いせん ISEN corp.） [L] スポーツ・文化ツーリズム（PVK株式会社）

	[L] 新潟経済「大変革期」到来！ ー人口減少、後継者難と立ち向かう中小企業ー（第四北越銀行コンサルティング事業部調整中）
--	--

講義科目名称： 地域理解ゼミナールⅠ（a・b・c・留）

授業コード： 269 519 700 704

英文科目名称： Regional Understanding SeminarⅠ

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
春学期	1年	2	必修
担当教員			
黒岩 直 他3名			
2020年度以降入学者	SES100R	2019年度以前入学者	ES100R
添付ファイル			

授業概要	地域経済について、(1)地域経済政策、(2)地域企業経営、(3)地域観光・スポーツ、(4)地域農業・6次産業、(5)地域文化、(6)コミュニティ・まちづくり分野、の6分野から、この学期では3分野について学んでもらいます（1分野4週ずつのリレー方式）。その中で、各学生が居住する地域を題材に地域経済の現状や課題についてフィールドワークを活用しながら考えてもらいます。各分野の担当教員が各クラスにリレー方式で講義します。分野の並び順はクラスにより異なります。
到達目標	地域経済に関する基礎的な知識を修得し、地域経済の仕組みや概念について理解するとともに、経済事象を主体的に考える能力と態度を育てること、また、地域企業の歴史的変遷や発展過程を捉え、それに基づいて現代的な地域企業問題にアプローチすることのできる知識を習得し、問題を検討する能力を育成することを目的とします。
テキスト・参考文献	授業時に指示します。
履修条件	なし
評価方法	レポート60%、フィールドワーク参加30%、平常点10%
準備学習（予習・復習等）	フィールドワーク参加前は、関連授業の復習をしておくこと。
連絡先	0257-24-8436（教務課）
備考欄	フィードバック方法：講評・解説をする。フィールドワークにおいて施設入館料等を負担してもらうこともあります。
授業計画	- 全体ガイダンス（予習-90分、復習-90分） - 地域経済政策（1）地域経済の現状と課題（予習-90分、復習-90分） - 地域経済政策（2）地域経済をどう見るか（予習-90分、復習-90分） - 地域経済政策（3）地元商店とインターネット通販（予習-90分、復習-90分） - 地域経済政策（4）地域通貨による地域活性化（予習-90分、復習-90分） - 地域スポーツ・地域観光（1）スポーツ産業（予習90分-地域の名物、復習90分-スポーツ庁の予算等の考察） - 地域スポーツ・地域観光（2）スポーツとまちづくり（予習90分-水球のまちとは、復習90分-本学運動部と地域） - 地域観光・地域スポーツ（3）柏崎を知る、柏崎を楽しむ（予習-90分、復習-90分） - 地域観光・地域スポーツ（4）柏崎の観光ブームアップ（予習-90分、復習-90分） - 地域文化（1）地域文化の重要性（予習-90分、復習-90分） - 地域文化（2）地域文化の保存（予習-90分、復習-90分） - 地域文化（3）地域文化とまちづくり（予習-90分、復習-90分） - 地域文化（3）地域文化とまちづくり（予習-90分、復習-90分） - フィールドワーク実習（1）（予習-90分、復習-90分） - フィールドワーク実習（2）（予習-90分、復習-90分）

講義科目名称： 地域理解ゼミナールⅡ（a・b・c・留）

授業コード： 048 263 707 711

英文科目名称： Regional Understanding Seminar Ⅱ

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
秋学期	1年	2	必修
担当教員			
権田 恭子 他3名			
2020年度以降入学者	SES101R	2019年度以前入学者	ES101R
添付ファイル			

授業概要	地域経済について、（１）地域経済政策、（２）地域企業経営、（３）地域観光・スポーツ、（４）地域農業・６次産業、（５）地域文化、（６）コミュニティ・まちづくり、の６分野から、この学期では春学期に受講しなかった３分野について学んでもらいます。その中で、各学生が居住する地域を題材に地域経済の現状や課題についてフィールドワークを活用しながら考えてもらいます。各分野の担当教員が各クラスにリレー方式で講義します。分野の並び順は、クラスにより異なります。
到達目標	地域経済に関する基礎的な知識を修得し、地域経済の仕組みや概念について理解するとともに、経済事象を主体的に考える能力と態度を育てること、また、地域企業の歴史的変遷や発展過程を捉え、それに基づいて現代的な地域企業問題にアプローチすることのできる知識を習得し、問題を検討する能力を育成することを目的とします。
テキスト・参考文献	授業時に指示します。
履修条件	特になし。
評価方法	レポート60%、フィールドワーク参加30%、平常点10%
準備学習（予習・復習等）	フィールドワーク参加前は、関連授業の復習をしておくこと。
連絡先	0257-24-8436（教務課）
備考欄	フィードバック方法：講評・解説をします。フィールドワークにおいて施設入館料等を負担してもらうこともあります。
授業計画	1. 全体ガイダンス（予習-90分、復習-90分） 2. 地域企業経営（１）新潟県の企業の現状課題と地域未来牽引企業（予習-90分、復習-90分） 3. 地域企業経営（２）地域未来牽引企業の実事例① 亀田製菓と岩塚製菓等（予習-90分、復習-90分） 4. 地域企業経営（３）地域未来牽引企業の実事例② コメリとパール金属等（予習-90分、復習-90分） 5. 地域企業経営（４）地域未来牽引企業の実事例、今代司酒造とアルビレックス新潟等（予習-90分、復習-90分） 6. 地域農業・６次産業（１）地域農業の現状と課題（予習-90分、復習-90分） 7. 地域農業・６次産業（２）スマート農業（予習-90分、復習-90分） 8. 地域農業・６次産業（３）６次産業化（予習-90分、復習-90分） 9. 地域農業・６次産業（４）食品産業の現状と課題（予習-90分、復習-90分） 10. コミュニティ・まちづくり（１）「まちづくり」ってなんだろう？（予習-90分、復習-90分） 11. コミュニティ・まちづくり（２）地方都市の現状は？未来は？（予習-90分、復習-90分） 12. コミュニティ・まちづくり（３）「まちづくり」の取り組みを知ろう！（予習-90分、復習-90分） 13. コミュニティ・まちづくり（４）大学生らしいアイデアでまちを元気に！（予習-90分、復習-90分） 14. フィールドワーク実習（１）（予習-90分、復習-90分） 15. フィールドワーク実習（２）（予習-90分、復習-90分）

講義科目名称： 地域理解ゼミナールⅢ

授業コード： 261 353 389 607 611
712 968

英文科目名称： Regional Understanding Seminar Ⅲ

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
春学期	2年	2	必修
担当教員			
権田 恭子 他6名			
2020年度以降入学者	経・文：SES200R		
添付ファイル			

授業概要	1年次の地域理解ゼミナールⅠ・Ⅱでは4週ずつ6つの分野を1年かけて全ての学生が受講しましたが、本講義では春学期1分野、秋学期1分野の合計2分野を選択し学修します。1つの分野で1学期通しての学びとなるため、より地域理解が深まります。1週目の全体ガイダンスで各分野担当教員からの内容紹介を聞き、受講希望分野を選択し、3週目から各分野に分かれての受講となります。1年次同様フィールドワークも実施します。学期末には合同発表会を開催し、各分野での調査研究や活動成果を報告します。		
到達目標	地域とは、必ずしも自分の住んでいるまちだけを指し示すものではありません。この講義では、巨視的な視角、また、個別的である程度狭小な場所に限定した課題意識、その探究手法の涵養に努めます。それぞれの分野で地域理解を深め自分なりの見解を持つことができるようになることを目標とします。		
テキスト・参考文献	講義において必要な資料等を配布します。		
履修条件	地域理解ゼミナールⅠ・Ⅱを履修済みであること（再履修者は同時に受講すること）。		
評価方法	ゼミナールでの発言30%、ゼミナール活動への参加30%、課題提出30%、平常点10%		
準備学習（予習・復習等）	予め指示したこと、毎回の講義内容の確認は必ず行うこと。また、指示された発表は必ず行い、フィールドワークには必ず参加すること。		
連絡先	0257-24-8436（教務課）		
備考欄	フィードバック方法：講評、解説をする。フィールドワークにおいて施設入館料等を負担してもらうこともあります。		
授業計画	1. ガイダンス（6分野の講義計画の紹介と分野選択）（予習90分、復習90分） ①地域経済分析分野（内橋）②地域企業経営分野（今村・大石）③地域観光分野（澁谷）④地域文化分野（小林）⑤コミュニティ・まちづくり分野（権田） 2. 全体共通講義「地域経済とは」（予習90分、復習90分） 3. ～14. 各分野に分かれての講義、フィールドワーク（各回予習90分、復習90分） ①地域経済政策分野（内橋） 「柏崎って、どんな街なんだろう？今の経済状況は、どんな感じなんだろう？学生さん皆が『柏崎探検隊』の一員になって、なんでも積極的に調べてみよう！」 ②地域企業経営分野（今村） 「新潟、特に柏崎は、創業100年超の長寿企業が多い地域。長寿の秘密を理解し、長寿企業を応援しよう！」 ②地域企業経営分野（大石） 「さまざまな地域資源（自然・歴史・技術の蓄積等）を活用する企業事例学習」 ③地域観光分野（澁谷） 「交流観光コア施設「じょんのび村」の取組」 ④地域文化分野（小林） 「地域における困難克服の経緯と対処の文化 一人為的災害・自然的災害」 ⑤コミュニティ・まちづくり分野（権田） 「柏崎のPR動画で“地域のファン”を増やそう！」 ※ 各分野の詳細についてはガイダンス時配布資料を参照 15. 「地域理解ゼミナールⅢ」合同発表会（予習90分、復習90分）		

講義科目名称： 地域理解ゼミナールⅣ

授業コード： 262 323 390 612 713
714 969

英文科目名称： Regional Understanding Seminar Ⅳ

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
秋学期	2年	2	必修
担当教員			
権田 恭子 他6名			
2020年度以降入学者	経・文：SES201R		
添付ファイル			

授業概要	1年次の地域理解ゼミナールⅠ・Ⅱでは4週ずつ6つの分野を1年かけて全ての学生が受講しましたが、本講義では春学期1分野、秋学期1分野の合計2分野を選択し学修します。1つの分野で1学期通しての学びとなるため、より地域理解が深まります。1週目の全体ガイダンスで各分野担当教員からの内容紹介を聞き、受講希望分野を選択し、3週目から各分野に分かれての受講となります。1年次同様フィールドワークも実施します。学期末には合同発表会を開催し、各分野での調査研究や活動成果を報告します。		
到達目標	地域とは、必ずしも自分の住んでいるまちだけを指し示すものではありません。この講義では、巨視的な視角、また、個別的である程度狭小な場所に限定した課題意識、その探究手法の涵養に努めます。それぞれの分野で地域理解を深め自分なりの見解を持つことができるようになることを目標とします。		
テキスト・参考文献	必要な資料等を配布します。		
履修条件	地域理解ゼミナールⅠ・Ⅱを履修済みであること（再履修者は同時に受講すること）。		
評価方法	ゼミナールでの発言30%、ゼミナール活動への参加30%、課題提出30%、平常点10%		
準備学習（予習・復習等）	予め指示したこと、毎回の講義内容の確認は必ず行うこと。また、指示された発表は必ず行い、フィールドワークには必ず参加すること。		
連絡先	0257-24-8436（教務課）		
備考欄	フィードバック方法：講評、解説をする。フィールドワークにおいて施設入館料等を負担してもらうこともあります。		
授業計画	1. ガイダンス（5分野の講義計画の紹介と分野選択）（予習90分、復習90分） ①地域企業経営分野（今村・大石）②地域スポーツ分野（佐々木）③地域農業・6次産業分野（金）④地域文化分野（小林）⑤コミュニティ・まちづくり分野（権田） 2. 全体合同講義 3.～14. 各分野に分かれての講義、フィールドワーク（各回予習90分、復習90分） ①地域企業経営分野（今村） 「新潟、特に柏崎は、創業100年超の長寿企業が多い地域。長寿の秘密を理解し、長寿企業を応援しよう！」 ①地域企業経営分野（大石） 「さまざまな地域資源（自然・歴史・技術の蓄積等）を活用する企業事例学習」 ②地域スポーツ分野（佐々木） 「スポーツでオンリー1、ナンバー1、世界初の試み。人、物、金、情報を駆使し、地域創生知恵比べ」 ③地域農業・6次産業分野（金） 「野菜・柿を栽培しながら、農業の魅力と持続可能な農業の在り方を学ぼう！」 ④地域文化分野（小林） 「地域における困難克服の経緯と対処の文化 一人為的災害・自然的災害」 ⑤コミュニティ・まちづくり分野（権田） 「柏崎のPR動画で“地域のファン”を増やそう！」 ※ 各分野の詳細についてはガイダンス時配布資料を参照 15. 「地域理解ゼミナールⅣ」合同発表会（予習90分、復習90分）		

講義科目名称： まちづくり基礎

授業コード： 805

英文科目名称： Community Building

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
秋学期	1年	2	選択
担当教員			
権田 恭子			
2020年度以降入学者	文：SCM100G		
添付ファイル			

授業概要	文化経済学科「まちづくり・地方行政分野」の入門として位置づけられる科目である。今日、日本の地方都市は人口減少や産業の衰退といった多くの課題を抱えており、行政まかせではない、市民が主体的に「まちづくり」を実践するための知識や技能が求められている。柏崎市内でのフィールドワークを通じて「まちづくり」に興味関心をもち、講義で学んだ基礎的な知識、技能を実際に地域で活用する第一歩を踏み出すことを目指す。「まちづくり」活動を実践している団体、個人へのヒアリングや、「まちづくり」イベント等への参加等のフィールドワークを4～5回程度予定している（原則として授業時間に実施。学期末に授業時間以外に柏崎市外の事例への見学を予定）。
到達目標	(1)今日の地方都市の抱える課題や「まちづくり」についての基本的な知識を修得する。(2)フィールドワークや地域の方との交流を通じて、「まちづくり」に興味関心をもち、地域に主体的に関わろうとする態度を身につける。
テキスト・参考文献	授業中に適宜指示する。
履修条件	この授業は授業時間外にフィールドワークに出かけることがあります（入館料として数百円程度かかる場合があります）。学外活動へ積極的に参加する姿勢が求められます。
評価方法	平常点（40％）、授業内で随時課す感想文、ワークシート（30％）、学期末のレポート（30％）。特に学習態度・意欲を重視する。
準備学習（予習・復習等）	毎時の配付資料や授業で紹介する文献等を熟読し、学習内容や自分の考えを整理する。また、日頃から柏崎市内外の「まちづくり」実践に関心をもち、情報収集しておく。
連絡先	kgonda@econ.nsu.ac.jp
備考欄	フィードバック方法：講評・解説を行う。（ア）
授業計画	- ガイダンス（フィールドワークの予定等について説明するので、必ず出席すること） ※ 以下の講義内容はフィールドワークとの関係で学習の順序を適宜変更する。 （予習-事前配布資料に目を通す。復習-授業中に提示した資料、提示した課題について調べる） 「まちづくり」とは何か（予習90分、復習90分 同上） 「消滅可能性都市」の衝撃（予習90分、復習90分） 「地方創生」と「地域版総合戦略」（予習90分、復習90分） 「コモンズの悲劇」に学ぶ（予習90分、復習90分） 「定住人口」と「交流人口」と「関係人口」（予習90分、復習90分） 「シティープロモーション」と「シビックプライド」（予習90分、復習90分） 「SDGs」とこれからの「まちづくり」(1)「SDGs」とは（予習90分、復習90分） 「SDGs」とこれからの「まちづくり」(2)自治体版「SDGs」（予習90分、復習90分） 「SDGs」とこれからの「まちづくり」(3)企業による実践（フィールドワーク）（予習90分、復習90分） 「まちづくりワークショップ」体験(1)（予習90分、復習90分） 「まちづくりワークショップ」体験(2)（予習90分、復習90分） - 柏崎での取り組み(1)－「好きなこと」で地域を元気にする－（予習90分、復習90分） - 柏崎での取り組み(2)－「地域包括ケアシステム」によるまちづくり－（予習90分、復習90分）

授業コード： 889

英文科目名称: Traditional Japanese Performance

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
秋学期	1年	2	選択
担当教員			
三井田 忠明			
2020年度以降入学者	文：CU106G		
添付ファイル			

授業概要	芸能の芸は技、能はその能力を表し、本来は人間の技能や技術を総称する言葉として用いられた。今日では、舞踊や歌謡などの身体行動や楽器などを用いての表現に限定される。特色としては、表現すると同時に表現が消滅してしまうので、受ける感動も大きい。授業では、第一線で活躍する芸能者と研究者から実践的な講義をうかがう。みて・きいて・わかる授業にしたい。講義の順番等は都合により多少前後することがあります。
到達目標	多様な伝統芸能を理解することによって、自分の感性を豊かにすることを旨とする。
テキスト・参考文献	特定のテキストは用いない。必要な資料については授業ごとに配付する。
履修条件	特になし
評価方法	各講師ごとのレポート60%授業の取り組み方40%
準備学習（予習・復習等）	各講師への質問や感想などは、配付の用紙に記入してください。
連絡先	0257-24-8436（教務課）
備考欄	フィードバック方法：講評・解説する。2／3以上の出席が望ましい。この科目は「博物館学芸員課程」の選択必修科目であるとともに、文化経済学科専門科目の一つである。
授業計画	1. ガイダンス・日本の伝統芸能とは（三井田　忠明）（予習30分、復習150分） 2. ゴゼ唄の継承と実演（金川　真美子）（予習30分、復習150分） 3. 綾子舞の歴史と文化（三井田　忠明）（予習30分、復習150分） 4. 佐渡の文弥人形（西橋　健）（予習30分、復習150分） 5. 神事としての相撲（大楽　和正）（予習30分、復習150分） 6. 古典尺八音楽＜本曲＞（八久保　保）（予習30分、復習150分） 7. 能楽①　能楽の歴史と構成（宮澤　正幸）（予習30分、復習150分） 8. 能楽②　能楽の技術と伝統（宮澤　正幸）（予習30分、復習150分） 9. 和太鼓の実演（坂牧　颯人）（予習30分、復習150分） 10. 佐渡の民俗芸能①（池田　哲夫）（予習30分、復習150分） 11. 佐渡の民俗芸能②（池田　哲夫）（予習30分、復習150分） 12. かんこ踊りの現在と未来（三国　信一）（予習30分、復習150分） 13. 落語の世界＜実演と講義＞（上村　茂和）（予習30分、復習150分） 14. 田楽・盆踊り太鼓（久保田　大地）（予習30分、復習150分） 15. 村祭りの中の芸能（三井田　忠明）（予習30分、復習150分） 授業計画は令和4年度実績（確定次第周知します）

講義科目名称： 越佐文化論

授業コード： 883

英文科目名称： Culture of Niigata

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
春学期	1年	2	選択
担当教員			
三井田 忠明			
2020年度以降入学者	文：CU102G	2019年度以前入学者	文：CU102G
添付ファイル			

授業概要	新潟県内を主なフィールドとし、そこで消長してきた様々なモノ（物質文化）と心（精神文化）を取り上げ、それを民俗学的な視点から概観する。その作業の中から地域の文化的個性や暮らしの変容などを把握する。できるだけビデオなど映像資料を用い見てわかる授業を行いたい。
到達目標	普段何気なく使用する物や見過ごしている事象に注意を向け、そこから地域の生活習慣や文化的個性を読み取る姿勢が生まれることを目指す。
テキスト・参考文献	授業時にプリントを配付する。
履修条件	特になし
評価方法	試験（60%）、授業の取り組み方（40%）
準備学習（予習・復習等）	授業の内容を自分の眼で、後日再確認してください。
連絡先	0257-24-8436（教務課）
備考欄	フィードバック方法：講評・解説する。文化経済学科の1年次専門科目で、博物館学芸員課程の選択必修科目である。
授業計画	1. 地域の文化を見直す民俗学的な視点（予習10分、復習170分） 2. モノを作る人々① 出職と居職（予習30分、復習150分） 3. モノを作る人々② 漆書き職、鍛冶職（予習30分、復習150分） 4. 地場産業の諸相 窯業、縮布、麻魚網（予習30分、復習150分） 5. 貸鞆慣行① 仕組みと営業形態（予習30分、復習150分） 6. 貸鞆慣行② 地域分布と衰退要因（予習30分、復習150分） 7. 越佐の木喰仏（予習30分、復習150分） 8. 風除けのある風景（予習30分、復習150分） 9. 軒端の民俗（予習30分、復習150分） 10. 民家の型と間取り（予習30分、復習150分） 11. 民家の地域差（予習30分、復習150分） 12. 小屋の諸相 海辺と平野の小屋（予習30分、復習150分） 13. 年中行事の構造と変容（予習30分、復習150分） 14. 正月行事の天神（予習30分、復習150分） 15. まとめ（予習30分、復習150分）